



2017年3月期

決算説明資料

2017年5月17日

株式会社ティーガイア

免責事項

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。

実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

2017年3月期 連結決算概要

2017年3月期 連結決算概要

(単位：億円)	16/3期 通期	17/3期 通期	前期比	17/3期 期初計画	達成率
売上高	6,200.7	5,515.9	89.0%	6,160.0	89.5%
売上総利益 (売上総利益率)	633.8 (10.2%)	617.3 (11.2%)	97.4% (+1.0 p)	648.5 (10.5%)	95.2%
販管費	477.1	474.6	99.5%	498.5	95.2%
営業利益 (営業利益率)	156.6 (2.5%)	142.7 (2.6%)	91.1% (+0.1 p)	150.0 (2.4%)	95.1%
経常利益	156.2	142.8	91.4%	149.5	95.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	94.9	96.9	102.1%	97.0	99.9%

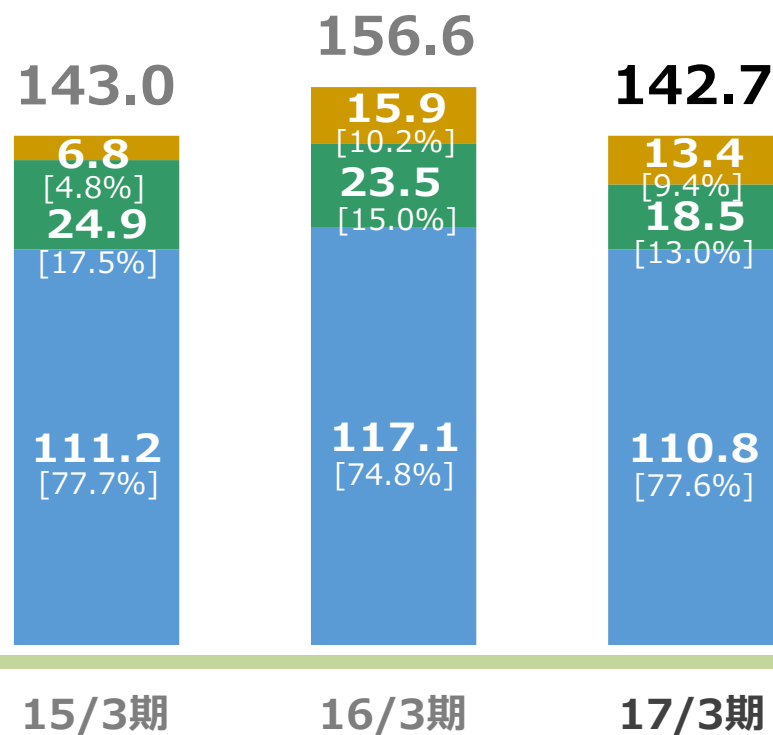
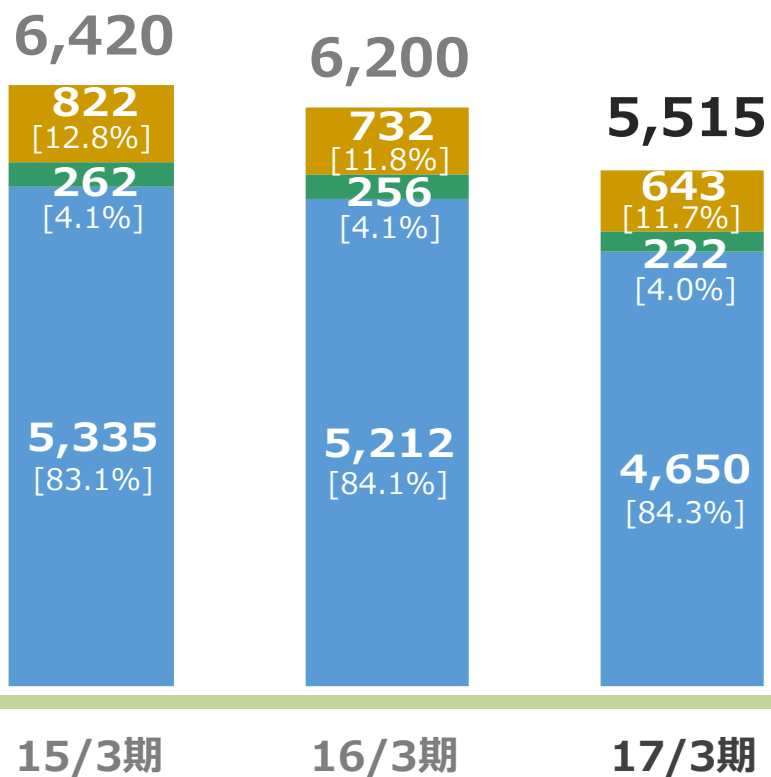
※ 2017年3月期の業績は、2017年4月28日に公表いたしました業績予想の修正値から変更ありません。

連結売上高・営業利益

売上高

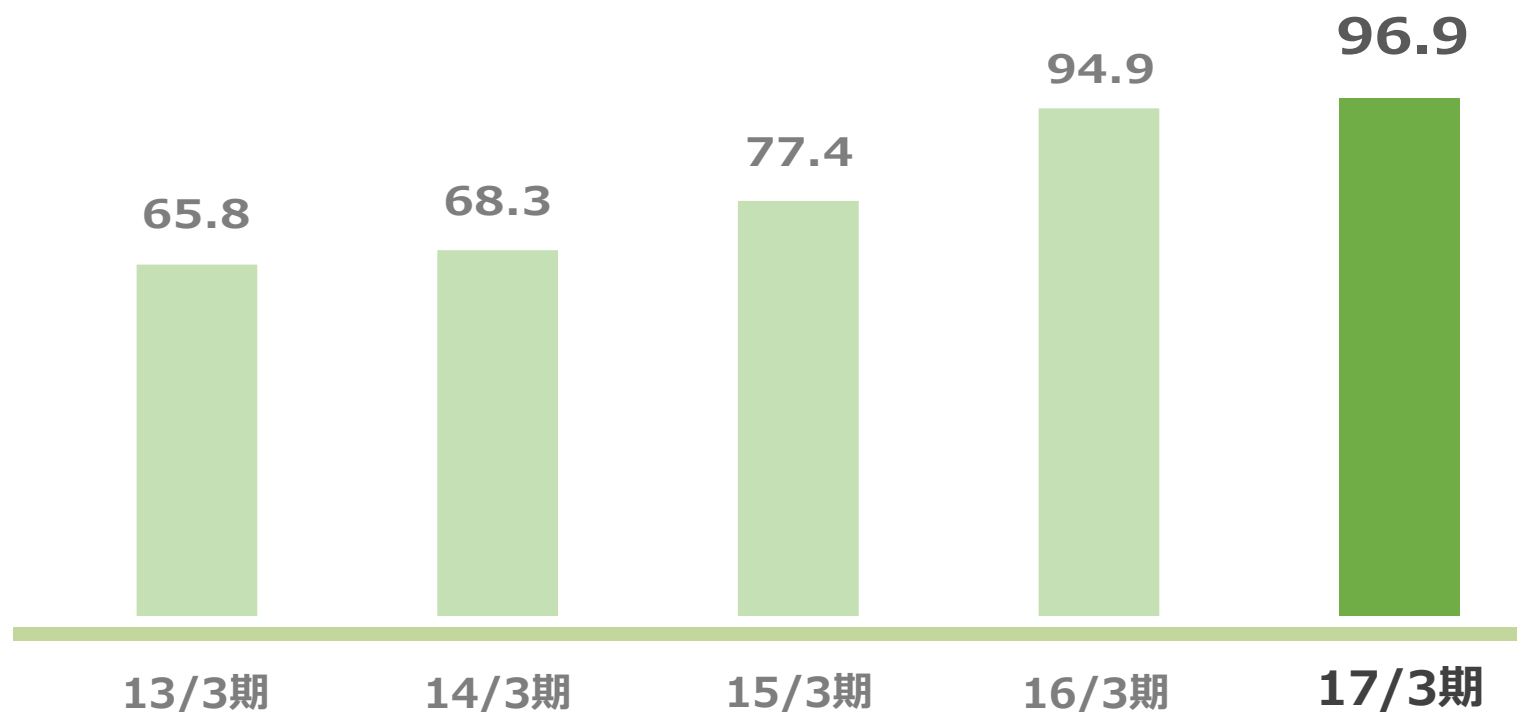
営業利益

■ モバイル事業 ■ ソリューション事業 ■ 決済サービス事業他
(億円)



全社当期純利益の推移（5期比較）

親会社株主に帰属する
当期純利益

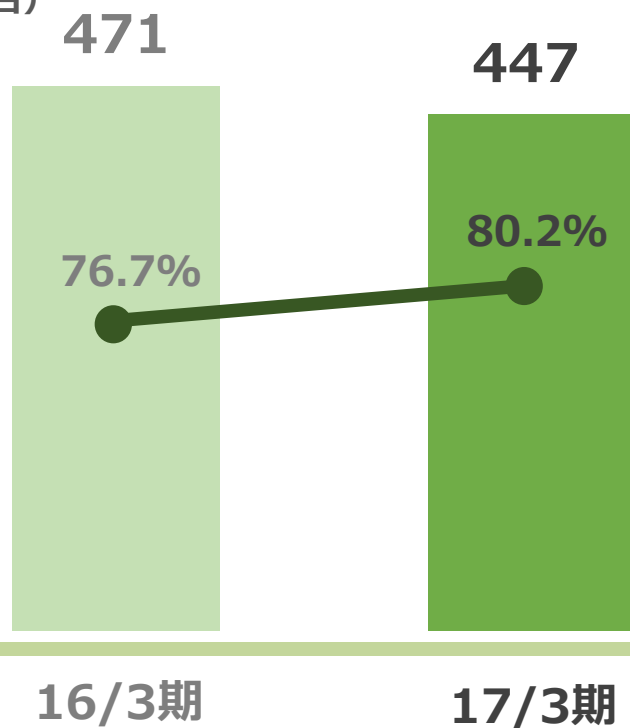


過去最高の利益を達成

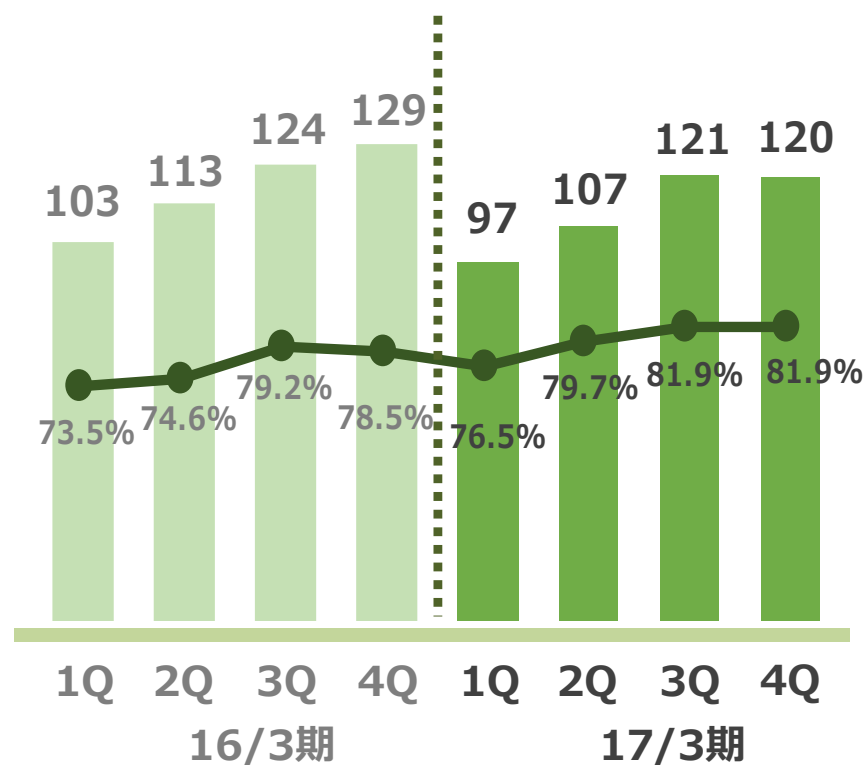
全社販売台数

携帯電話等販売台数

■ 販売台数 (万台) ● スマートフォン・タブレット比率



四半期推移

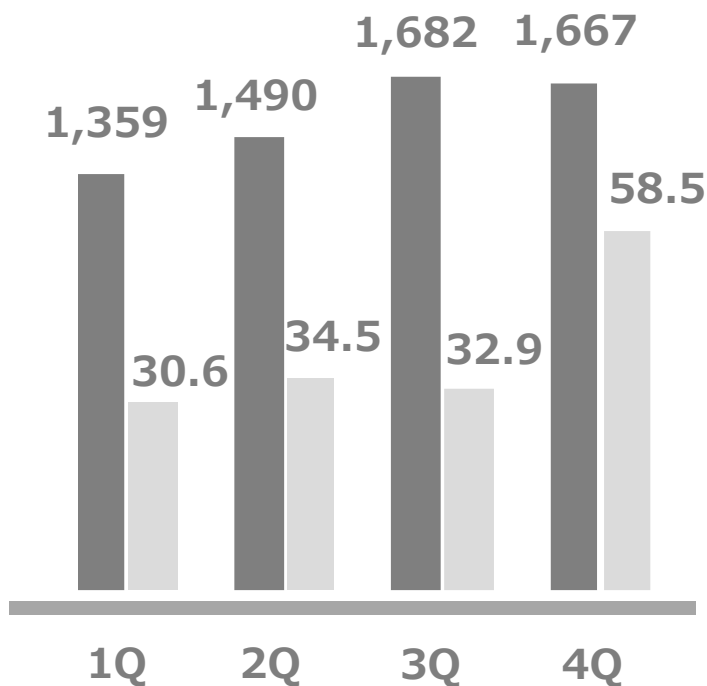


スマートフォン・タブレット比率上昇
4 Q販売市場が沈静化

全社売上高・営業利益 四半期推移

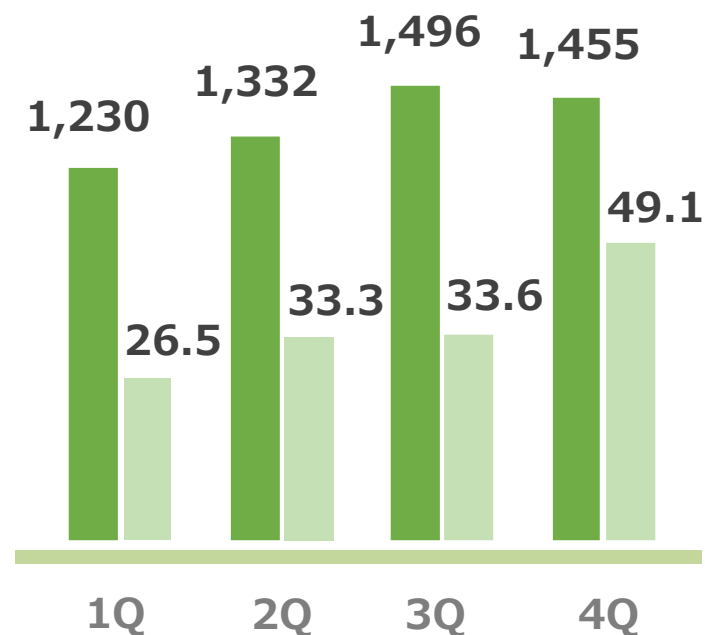
16/3期

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



17/3期

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



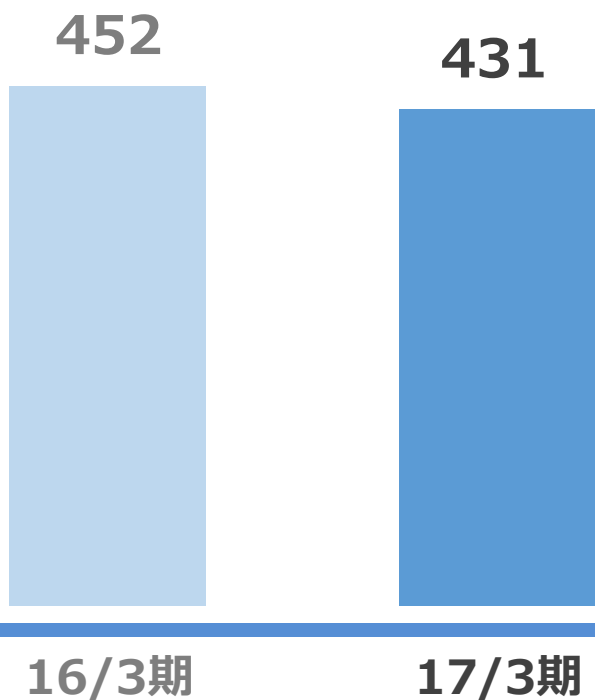
4 Q販売市場沈静化の影響



モバイル事業 セグメント業績

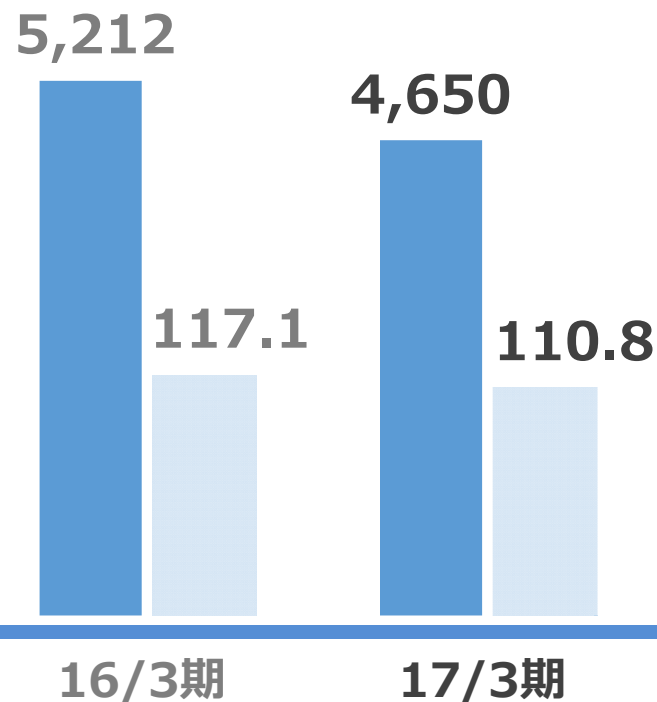
携帯電話等販売台数

(万台)



売上高・営業利益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)

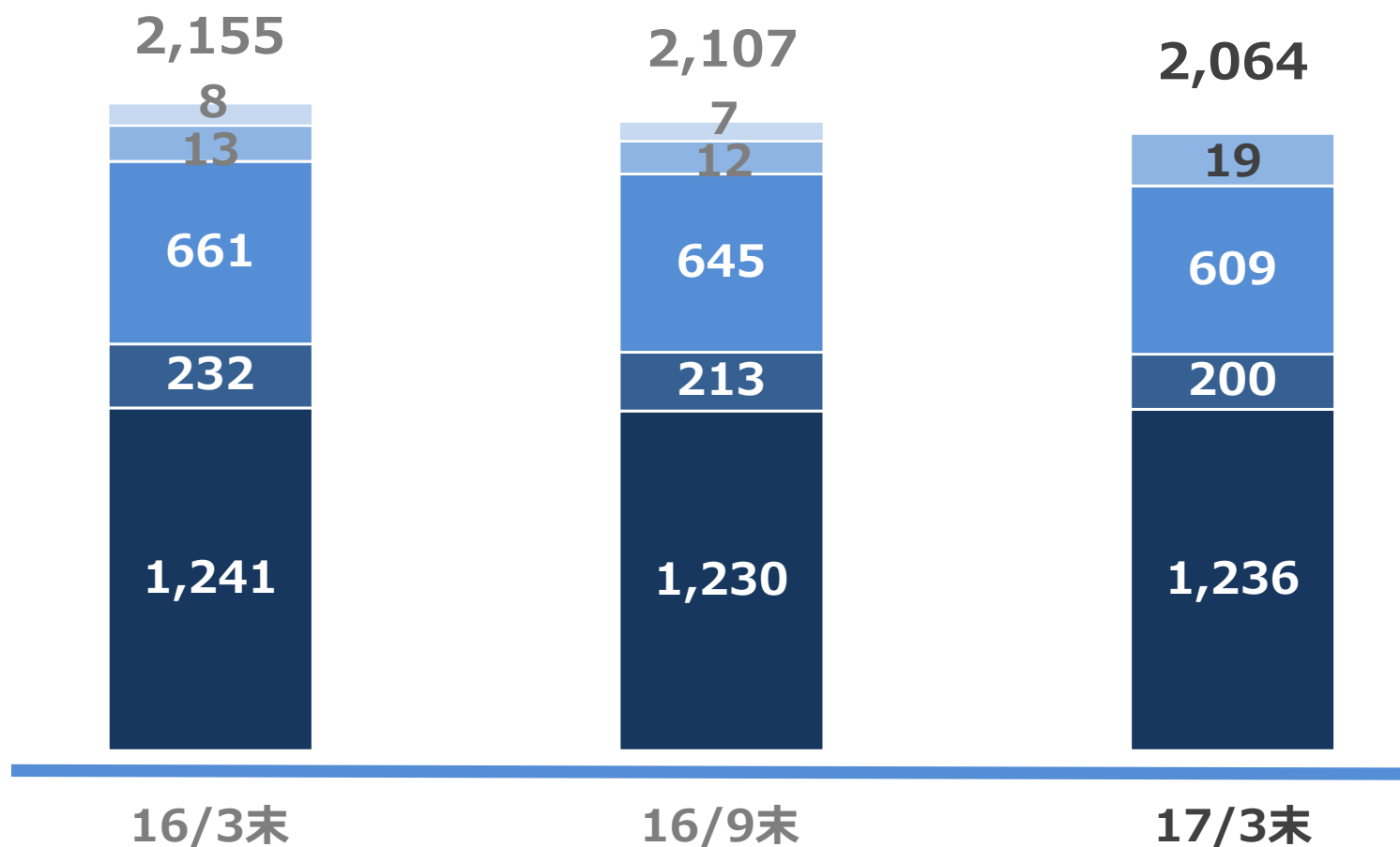


売上高減少に対応し、収益性向上

販売拠点数

販売拠点数推移

キャリアショップ
 併売店等
 量販店
 アクセサリーショップ ※1
 チャイナユニコムショップ ※2



※1 アクセサリーショップにはECサイトを含む。

※2 チャイナユニコムショップは2016年12月31日付で譲渡いたしました。

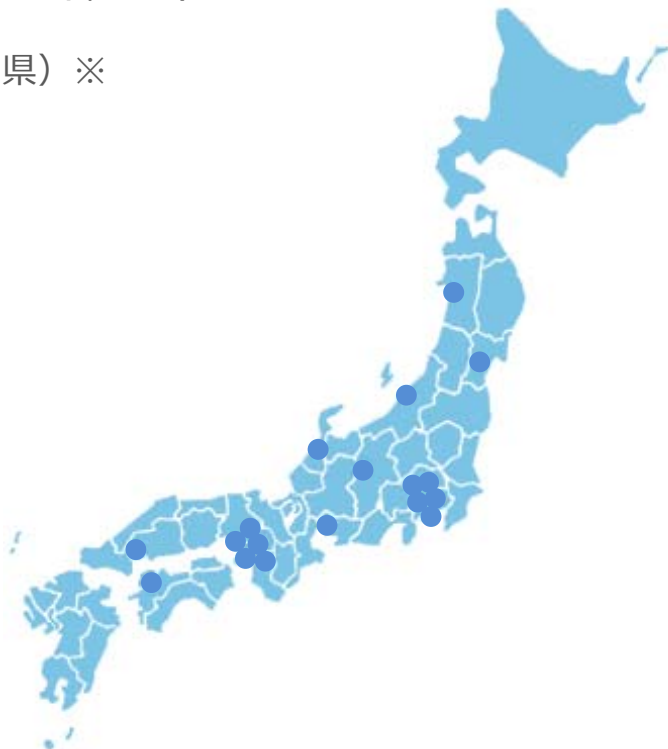
詳細は、2016年11月29日公表の「特定子会社の異動（譲渡）に関するお知らせ」をご参照ください。

アクセサリショップ

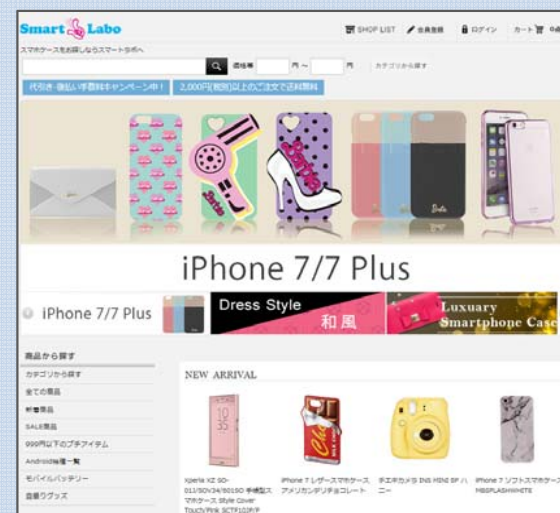
Smart Labo 店舗一覧

- 仙台クリスロード（宮城県）
- New ● イオンモール秋田（秋田県）※
- アトレ秋葉原（東京都）
- 新宿東口（東京都）
- 池袋サンシャインシティアルパ（東京都）
- 北千住マルイ（東京都）
- New ● ららぽーと湘南平塚（神奈川県）※
- ラブラ2（新潟県）
- New ● 金沢フォーラス（石川県）
- 松本パルコ（長野県）
- 栄地下（愛知県）
- 心斎橋（大阪府）
- なんば戎橋（大阪府）
- なんばマルイ（大阪府）
- 西宮ガーデンズ（兵庫県）
- 神戸三宮（兵庫県）
- 広島本通（広島県）
- 大街道中央（愛媛県）

（2017年3月末現在）



オンラインショップ 「Smart Labo Online」



URL : <http://smalabo.com/>

戦略的投資 ①

キャリアショップ

●7月27日 OPEN



auショップ長与

(長崎県西彼杵郡長与町)

●7月29日 OPEN



ドコモショップ海老名西口店

(神奈川県海老名市)

キャリアショップの拡充

戦略的投資 ②

サブブランド&MVNO ショップ



UQスポット本通商店街

UQスポット

- イオンタウンユーカリが丘（千葉県）
- 竹の塚（東京都）
- 上野（東京都）
- イオンモール常滑（愛知県）
- イオンモール長久手（愛知県）
- 三宮（兵庫県）
- 本通商店街（広島県）
- ゆめシティ（山口県）



楽天モバイル 姫路 グランフェスタ店

楽天モバイルショップ

- 秋田 イオンモール秋田店（秋田県）※
- 池袋 サンシャイン通り店（東京都）
- 錦糸町 テルミナ店（東京都）
- 横須賀中央 駅前店（神奈川県）
- ららぽーと湘南平塚店（神奈川県）※
- 小松 イオンモール新小松店（石川県）
- モレラ岐阜店（岐阜県）
- 新静岡 駅前店（静岡県）
- 姫路 グランフェスタ店（兵庫県）
- 広島 ゆめタウン広島店（広島県）

販売網拡大

戦略的投資 ③

Smart Labo

- 2016年10月20日 OPEN



栄地下

(愛知県名古屋市)

- 2016年10月28日 OPEN



池袋サンシャインシティアルパ

(東京都豊島区)

- 2016年11月16日 OPEN



北千住マルイ

(東京都足立区)

- 2016年12月8日 OPEN



なんばマルイ

(大阪府大阪市)

- 2017年2月23日 OPEN



金沢フォーラス

(石川県金沢市)

引き続き出店

人財教育

CAREER DESIGN ACADEMY ※1



カテゴリ	プログラム名
新人教育	新人スタッフ本社集合研修
	新人ブラッシュアップ研修
スキルアップ (基礎編)	応対力向上研修
	価値提案力向上研修
	ステップアップ研修
	ご指摘対応研修
スキルアップ (応用編)	商品別アプローチ講座
	アップセル講座
	マネジメントセミナー
キャリアアップ	店長、副店長、チーフ研修
資格／試験対策	キャリア資格試験対策
	応対コンテスト研修
役職者向け研修	採算管理研修
	トレーナー、SV育成研修

パートナー代理店、全携協※2にも研修プログラムを提供開始
携帯電話販売業界外（CATV事業者、銀行等）からも受注

※1 株式会社キャリアデザイン・アカデミーは当社の連結子会社

※2 全国携帯電話販売代理店協会

ソリューション事業 セグメント業績

携帯電話等販売台数

(万台)

18.8



15.1



16/3期

17/3期

売上高・営業利益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)

256



23.5

222



18.5

16/3期

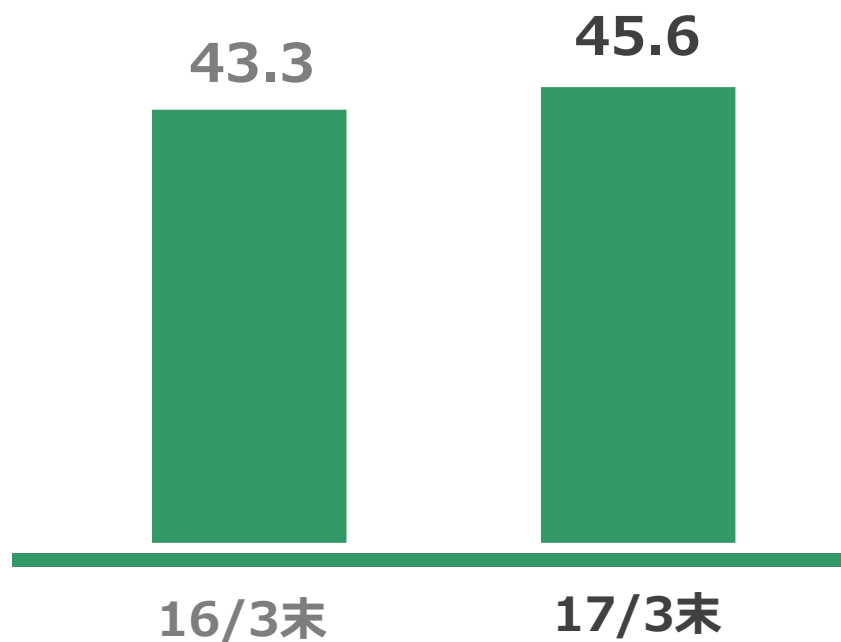
17/3期

大口需要の減少により販売減
固定回線系商材のビジネスモデル変化により減益

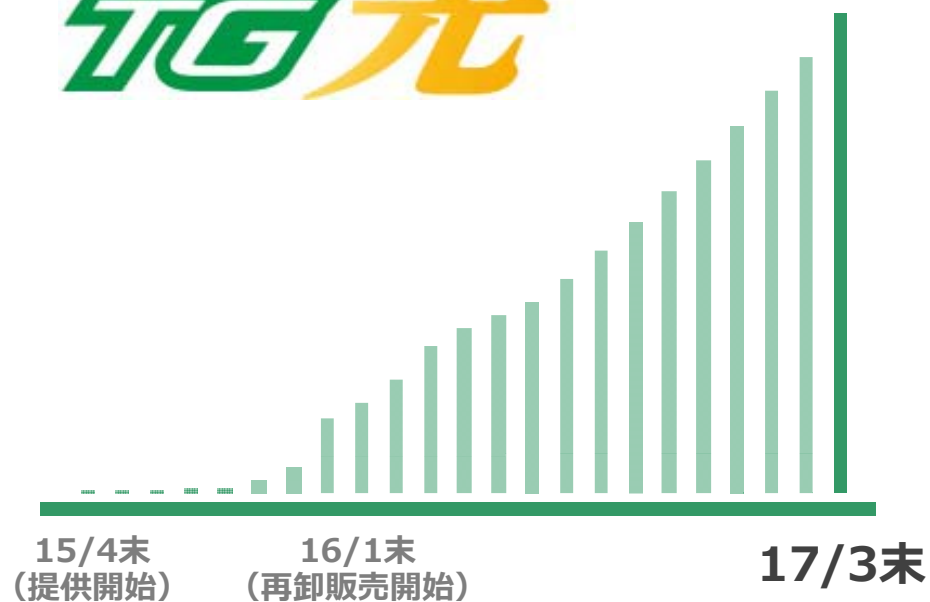
ストック型ビジネス

movino star 加入ID数

(万ID)



TG光 累計回線数（再卸含む）



ストック型収入の増加

※ movino star…法人向け通信回線一括管理サービス

※ 新IDへの移行に伴い、ID数の見直しを図ったため、16/3末のID数を43.3万IDに修正

業界特化型ソリューション事業

教育業界

- (株)SRJの子会社「(株)V-Growth」と共同でタブレット端末・通信回線・運用監視をパッケージ化したワンストップソリューションの提供を開始



- (株)SRJの顧客（学習塾 2,000教室以上）を含む教育業界を対象に、タブレット向けワンストップサービスの提供を開始

ヘルスケア業界

- 米国のヘルスケアサービスプロバイダーのDiary社と独占販売代理店契約を締結



- 岐阜県関市において、Diary社のPHR※収集・管理用スマートフォンアプリケーション「The Diary」を利用した遠隔ヘルスケアシステムを全国の自治体で初めて導入

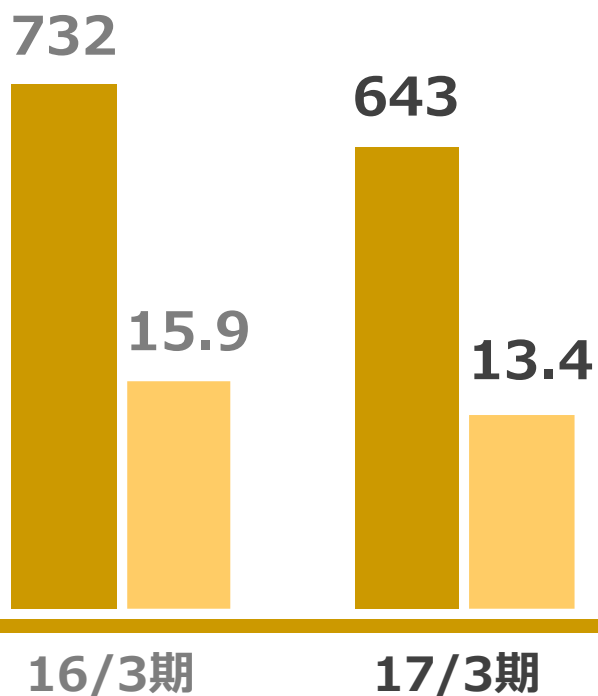
※ PHR…Personal Health Record

新たなソリューションビジネスの推進

決済サービス事業他 セグメント業績

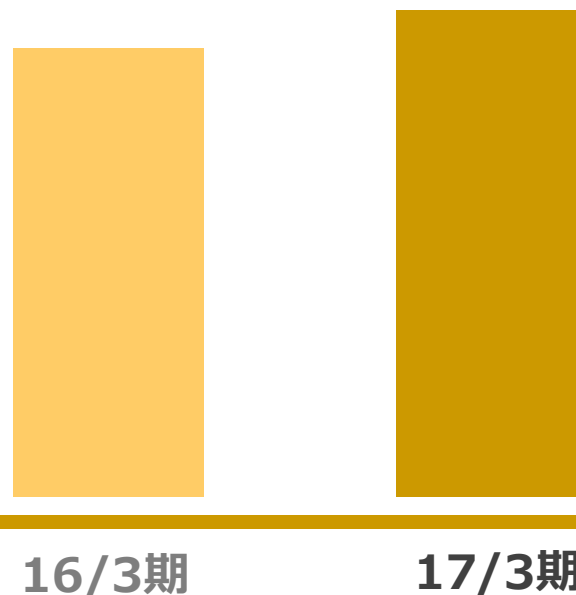
売上高・営業利益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



P I N・ギフトカード取扱高

ギフトカードの拡販により
3.1%増



16/3期 4 Qの一過性の収益計上の影響により減益

取扱店舗数

P I N ・ ギフトカード取扱店舗数

約 55,300 約 57,800



16/3末



17/3末

- ギフトカードの販路増加
- キャンペーン等の効果的な販売施策を積極的に実施

<取扱商品一例>



※Amazon.co.jpおよびそのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

※BitCashは、ビットキャッシュ株式会社の登録商標です。

海外事業

シンガポール（決済サービス事業）



シンガポールの高級スーパー「FairPrice xtra」

- 大手コンビニエンスストアやスーパー等においてギフトカードを拡販
- 販路の拡大等により、取扱高は伸長
- その他東南アジア諸国への進出検討

子会社の異動

特定子会社の異動（譲渡）

※ 1

- 海外戦略の一環として、経営資源の選択と集中を図るため、当社の特定子会社である「天閣雅（上海）商貿有限公司」の全ての出資持分を2016年12月31日付で譲渡。

（当第3四半期連結会計期間末より、連結の範囲から除外しております。）

連結子会社の吸収合併

※ 2

- 携帯電話等の販売強化および組織一元化による管理体制の効率化を目的として、当社の連結子会社である「株式会社TG宮崎」を2017年4月1日付で吸収合併。

※1 詳細は、2016年11月29日公表の「特定子会社の異動（譲渡）に関するお知らせ」をご参照ください。

※2 詳細は、2016年12月27日公表の「連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」をご参照ください。

2018年3月期 連結業績予想と今後の取組み



中期定性目標

当社は、2014年4月に公表した企業理念に基づき、以下目標を達成することで、持続的成長を実現し、株主、従業員を含むすべてのステークホルダーの期待に応えることを、2015年11月より、2020年度に向けた中期目標として掲げております。

- 中核の携帯電話代理店事業において、リーディングカンパニーとしてのポジションを堅持する
- 法人向け事業、決済事業、海外事業などを確固たるコアビジネスとして育成する
- モバイル、インターネット業界で、新たな事業機会を発掘、開拓する
- 配当性向30%以上を維持する

また上記を実現するために、以下を全社共通戦略として掲げ、日々具体的方策に取り組んでおります。

- 「人財」の育成、登用、活用、確保を行い、従業員一人ひとりの成果の最大化、最適化を実現する
- 戦略的、継続的コストマネージメントを行い、市場の変化に対応したコスト構造に変革をする
- 組織、制度の最適化を柔軟に行うことで、全社成果の最大化を図る

上記中期目標、全社共通戦略をベースとして、ビジネスラインごとの営業戦略を策定、各営業本部にてアクションプランに落とし込んで、日々その実現に向け取り組んでおります。

主な取り組み内容

新たな収益基盤の構築

モバイル事業

- ✓ Smart Laboを通じた新たな商材・サービス・販路の拡充
- ✓ 店舗ソリューションビジネスの創出

ソリューション事業

- ✓ ヘルプデスク機能等の強化
- ✓ 業界特化型ソリューションの開発
- ✓ 「TG光」「movino star」等の更なるストック収益の増加

決済サービス事業

- ✓ 国内決済サービス事業の強化・拡大
- ✓ 東南アジアでのビジネス拡大

将来の柱となる

「収益基盤の創出」

全社の生産性向上

- 働き方改革の推進
 - ✓ ショップの営業時間短縮・定休日の設定
 - ✓ 全社的なメリハリシフトの実施
- 優秀な人財の確保・育成・登用
 - ✓ 正社員化の更なる推進
 - ✓ 新卒社員の採用強化・拡大
 - ✓ 新たなビジネスへの人財登用
 - ✓ 新人スタッフ本社集合研修の継続等
- 全社効率化
 - ✓ 全社的なIT基盤システム強化
 - ✓ 最新の店舗IT環境の整備・活用
 - ✓ ロジスティクス高度化

「生産性」業界No.1へ

2018年3月期 全社連結業績予想

(単位：億円)	17/3期 通期 実績	18/3期 通期 計画	前期比	
売上高	5,515.9	5,650.0	+ 134.1	+ 2.4%
売上総利益	617.3	656.0	+ 38.7	+ 6.3%
販管費	474.6	504.0	+ 29.4	+ 6.2%
営業利益	142.7	152.0	+ 9.3	+ 6.5%
経常利益	142.8	152.0	+ 9.2	+ 6.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	96.9	101.5	+ 4.6	+ 4.7%
販売台数（万台）	447	462	+ 15.0	+ 3.4%



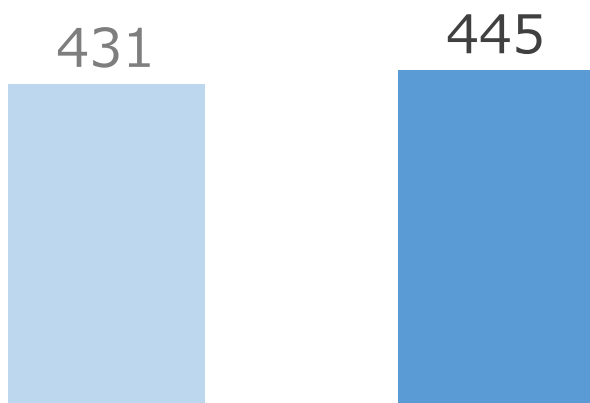
モバイル事業 業績予想

27

- 引き続き店舗の移転・改装等の戦略的投資を継続
- 販売力強化とお客様満足度向上のための人員補充、積極的な教育投資の実施
- お客様のニーズに合わせた販売の徹底
- 継続的な収益モデルの構築

携帯電話等販売台数 予想

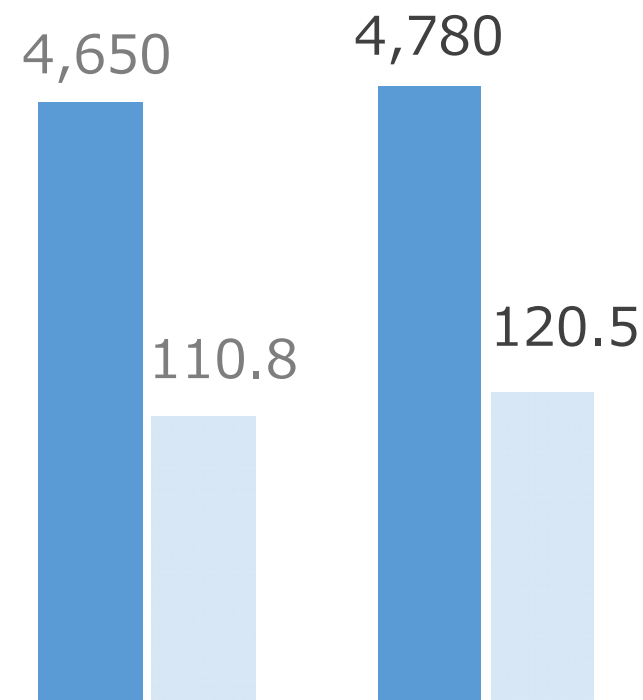
(万台)



17/3期 実績 18/3期 (計画)

モバイル事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



17/3期 実績 18/3期 (計画)

新コンセプトショップ

コラボレーションショップ



楽天モバイル × Smart Labo

アクセサリ

プライベートブランド

● 第1弾 “trip to Hawaii”シリーズ

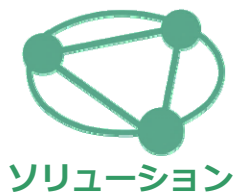


Étincese

プライベートブランド
「Étincese (エタンセス)」※



5月中旬よりSmart Labo全店において販売開始



ソリューション事業 業績予想

30

法人向けモバイルソリューション事業

- 「movino star」のストック収入の拡大
- ヘルプデスク等のソリューションサービスの機能を拡充し、法人顧客のスマートデバイス導入をサポート
- 業界特化型ソリューションへの取組みを強化

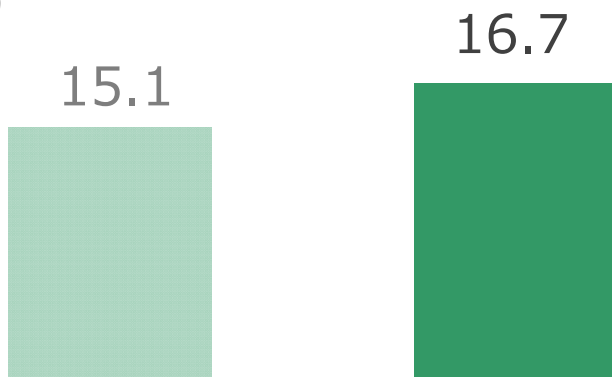
ネットワーク事業

- 「T G光」の収益基盤の拡大
- 組織再編・人財の補強による営業力強化



携帯電話等販売台数 予想

(万台)

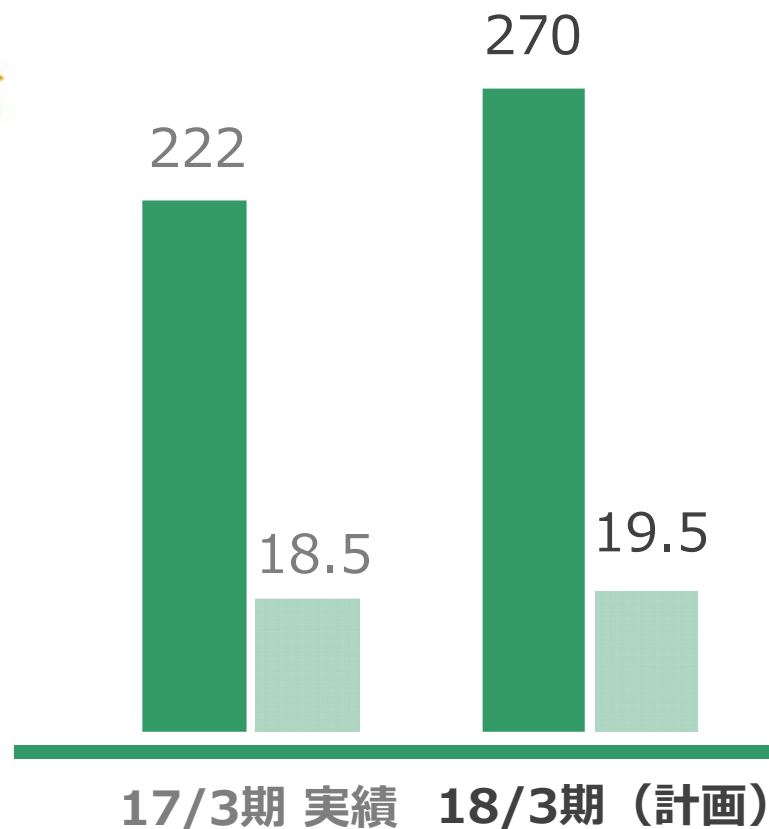


17/3期 実績

18/3期 (計画)

ソリューション事業 業績予想

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



PCテクノロジー(株)への出資



スマートフォン・タブレット端末販売、
端末サポートサービスの提供



PCテクノロジー

コールセンター事業
企業支援事業
ICT機器ライフサイクルマネ
ジメントサービス

両社のノウハウ・実績を融合し、ヘルプデスク事業を拡大。



PCテクノロジー

社 名 : PCテクノロジー株式会社
設立年月日 : 1984年5月
株 主 : 野口 政夫 60.0%
株式会社ティーガイア 40.0%
従 業 員 : 145人
事 業 内 容 : コールセンター事業、ITサービス事業、
企業支援事業、ICT機器販売・リユース事業。

- ・ ICT機器ヘルプデスク事業のサービス拡充
- ・ 文教向けヘルプデスク事業の営業強化



決済サービス事業 業績予想

決済サービス事業 業績予想

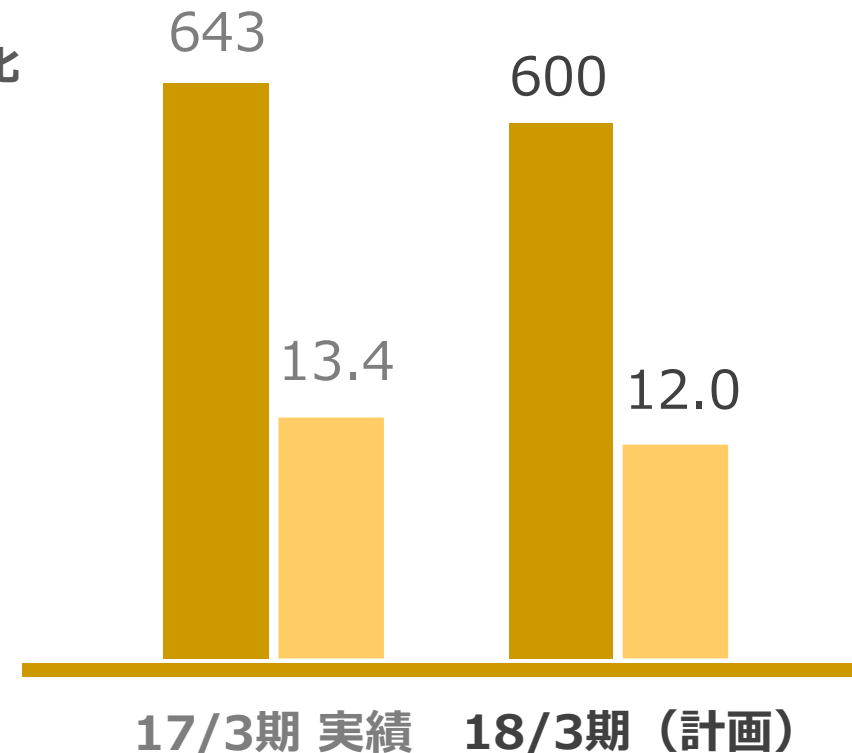
■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)

決済サービス事業

- プリペイド決済市場の拡大に応じて、
商材・販路拡大に向けた先行投資を実施
- デジタルコード等の新たな決済手段への取組強化

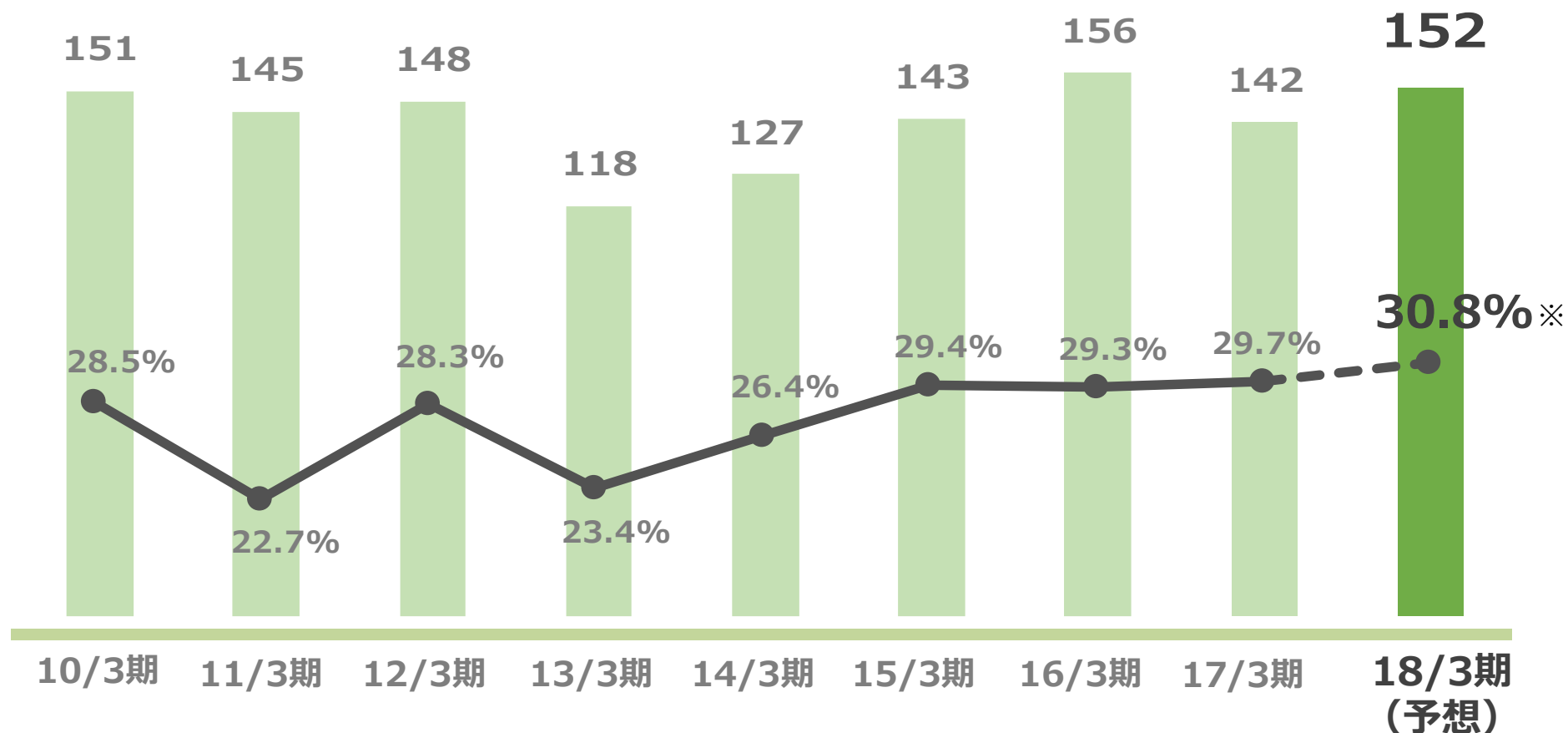
海外事業

- 高級スーパー等の販路を拡大し、
ギフトカードの取扱高増加
- 東南アジアでのカード事業拡大の検討



ROE・営業利益 推移

■ 営業利益 ● ROE（自己資本当期純利益率）
(億円)



高水準のROEにより
JPX日経インデックス400に継続選出

※18/3期（予想）のROEは、18/3期における親会社株主に帰属する当期純利益（予想）および自己資本の期中平均（予想）に基づき算出

株主還元策

18/3月期 株主還元策

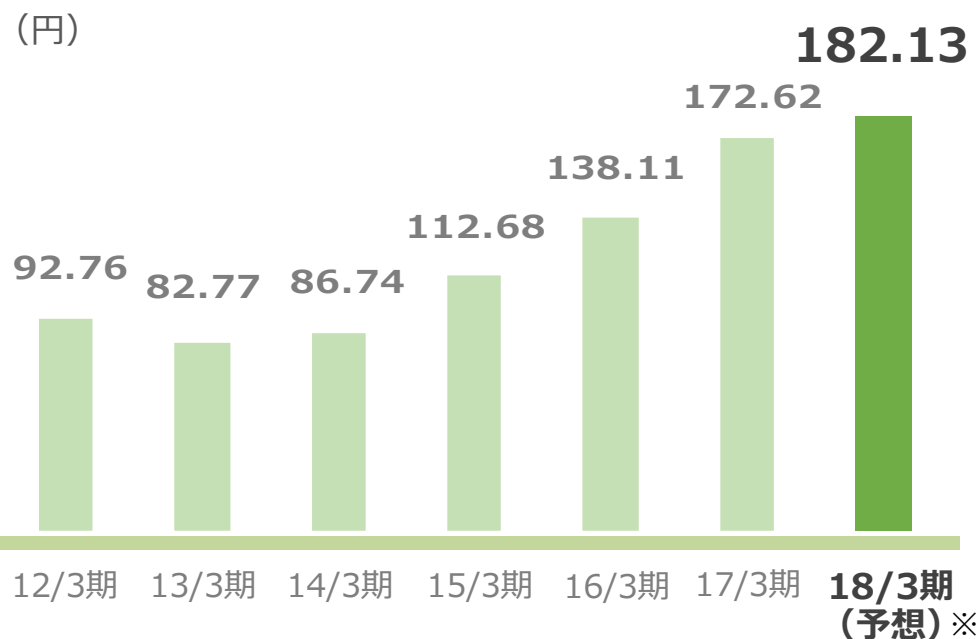
1株当たり3円の増配を予定（4期連続増配）

- 年間配当金：55円/株（中間配当金：27.5円/株、期末配当金：27.5円/株）

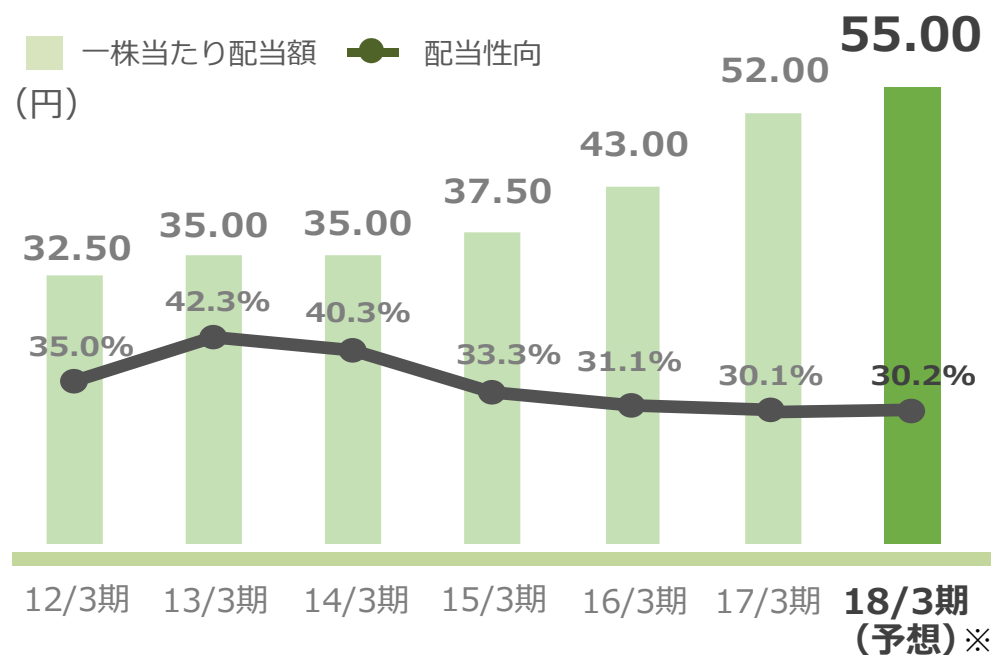
配当の基本方針

配当性向30%以上を目処として利益還元を実施

● 1株当たり当期純利益



● 1株当たり配当額と配当性向



※18/3期（予想）の1株当たり当期純利益および配当性向は、18/3期末における期中平均株式数（予想）に基づき算出

職場環境の整備

ダイバーシティの推進



- 女性の活躍推進
(2017年度 女性管理職比率10%以上達成の見込み)
- 障がい者の積極採用と活躍推進
- 育児や介護と仕事の両立支援

働き方改革の推進



URL : <https://jws-japan.or.jp/>

- 一般財団法人 日本次世代企業普及機構 (JWS) が主催する「第2回ホワイト企業アワード」において、「労働時間削減部門大賞」を受賞

働きやすい職場環境の整備を推進

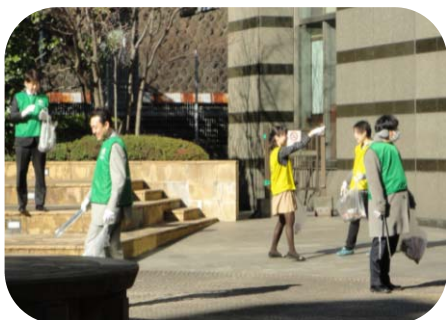


全 社

CSR活動

社員参加型のボランティア活動

- 恵比寿本社ビル周辺の清掃活動を実施
サッポロホールディングス等、近隣企業と合同での清掃活動も開催



- 日本赤十字社の血液事業に対し、積極的に献血活動を実施



- 使用済み切手の仕分け活動を実施東南アジアでの井戸建設を支援



主な協賛団体等



(公財) アイメイト協会 サポート会員として
盲導犬育成事業に協力
【提供：(公財) アイメイト協会】



NPO法人 TABLE FOR TWO Int'lに賛同し、
「CUP FOR TWO」活動を展開
【提供：NPO法人TABLE FOR TWO International】



メセナ（文化支援）活動の一環として、
「日本フィルハーモニー交響楽団」を後援
【提供：日本フィルハーモニー交響楽団】



(公財) 日本障がい者スポーツ協会
「JPSAオフィシャルサポーター」として
障がい者スポーツの推進や選手の
強化活動に協賛
【提供：(公財) 日本障がい者スポーツ協会】

当社社員も大会に出場

2017年3月



当社社員 増本 円 (右)

- ・「9th Fazza Para -Athletics Championships- Dubai 2017 World Para Athletics Grand Prix」
100m 19"47 (+1.0) 9位
- ・「7th Sharjah International Open Athletic Meeting」
100m 19"49 (+2.0) 3位
※6人中3位、銅メダル獲得

(参考) 全国携帯電話販売代理店協会の取組み

安心ショップ認定制度



あんしんショップ認定マーク

- 安心ショップ認定状況 ※2017年4月1日現在

認定済みキャリアショップ数 **5,328店舗 (64%)**

＜ 内、当社直営キャリアショップ数 **279店舗 (100%)** ＞

e-ネットキャラバン

※



(活動風景)

子供たちが安心・安全にインターネットを
使えるよう、講座を通じて啓発活動に貢献

※インターネットの安心・安全な利用のために、子どもたちはもとより保護者・教職員等を対象に
実施する啓発・ガイダンス